

I 目指す姿

東播磨地域は、中央部に県下最大の河川「加古川」が流れ、南部は播磨臨海工業地帯の中央にあり、県下で最も製造品出荷額が多い地域である。

また、いなみ野台地では「加古大池」をはじめとする個性豊かなため池が数多く密集しており、地域全体に海・川・ため池などの豊かな水辺空間が広がっている。これらの地域資源を大切に守り生かしながら、自然と地域が共生できる持続可能な地域づくりの展開を図ってきた。

人口の流れに目を向けると、管内には大企業に関連する優良な中小企業が多く、また自市町内もしくは近隣市町への通勤者が多い中で、0～14歳、20歳代後半～40歳代前半の子育て世代が公共交通の充実した地域に転入している。一方、20～24歳人口の転出超過が大きい傾向にあり、この世代の転出抑制に向けて、地域内で家庭を持ち子育てする環境を整えるため、働く場を確保するとともに、広域的に交通の利便性を高め、安心して生活を送ることができる地域づくりを進める必要がある。

このため、「人・もの・情報が交流する魅力と賑わいの拠点づくり」、「いきいきと暮らせる安全安心なまちづくり」、「安心して結婚・出産・子育てできるまちづくり」、「東播磨の特性を活かした産業の活性化と働く場づくり」を進める。

新たにSDGsや公民連携、DXが社会を取り巻くキーワードとして地域づくりの共通基盤となった。そのような情勢の変化に加え大阪・関西万博の開催を控え、東播磨地域ビジョン2050で掲げた「水辺・ものづくりのまちでつながりワクワクする未来」を基本理念として、以下の3つの将来像の実現を目指す。

- (1) 誰もが自律し、健康で快適な生活を送る社会
- (2) 防犯・防災の基盤が整い、力強い産業が活力を生み出す社会
- (3) 自然環境の営みを大切にし、地域内外の交流が広がる社会

【目標】

数値欄の上段(網掛)は目標値、下段は実績値

KPI	目標設定の時点	R3	R4	R5	R6
観光客入込数		9,640千人	9,760千人	9,880千人	10,000千人
	9,403千人(H30)	6,232千人	7,366千人 (R5.12速報値)		
住んでいる地域に誇りや愛着を感じる人の割合 ※		64.4%	65.0%	65.6%	66.2% R1の全県平均並み
	全県 66.2%(R1) 東播磨 63.1%(R1)	66.8% 70.3%	64.7% 66.1%	63.8% 64.5%	
住んでいる地域の災害に対する備えは、以前より確かなものになっていると思う人の割合 ※		32.1%	32.8%	33.4%	34.0% R1の全県平均並み
	全県 34.0%(R1) 東播磨 30.7%(R1)	34.4% 32.1%	—	—	

住んでいる地域は、治安が良く、安心して暮らせると思う人の割合 ※		74.0%	75.8%	77.6%	79.4% R1 の全県平均 並み
	全県 79.4%(R1) 東播磨 70.2%(R1)	79.6% 82.3%	64.7% 66.1%	64.5% 66.7%	
刑法犯認知件数		4,295 件	3,886 件	3,477 件	3,068 件 ※R1 の 60%
	5,113 件(R1)	3,786 件	4,232 件	4,773 件	
管内の交通事故件数		3,029 件	2,861 件	2,693 件	2,525 件 ※R1 の 75%
	3,366 件(R1)	2,581 件	2,499 件	2,483 件	
住んでいる地域は、子育てがしやすいと思う人の割合 ※		前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る	前年度を上回る
	全県 55.4%(R1) 東播磨 62.6%(R1)	58.8% 71.5%	—	—	
お住まいの市・町の公共交通は便利だと思う人の割合 ※		49.6%	50.6%	51.6%	52.6% R1 の全県平均 並み
	全県 52.6%(R1) 東播磨 47.4%(R1)	56.2% 56.6%	59.4% 56.7%	56.1% 53.7%	
東播磨地域における若年者(20～24歳)の転出超過数		転入・転出均衡	転入・転出均衡	転入・転出均衡	転入・転出均衡
	544 人(H30)	744 人	831 人		
新規就農者数		20 人/年	20 人/年	20 人/年	20 人/年
	20 人/年(R1)	24 名	16 人		
管内の製造品出荷額		県民局別 1 位	県民局別 1 位	県民局別 1 位	県民局別 1 位
	県民局別 1 位(R1)	県民局別 1 位			

※出典：「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査

KPIの「住んでいる地域の災害に対する備えは、以前より確かなものになっていると思う人の割合」、「住んでいる地域は、子育てがしやすいと思う人の割合」については、令和4年度から「兵庫のゆたかさ指標」の設問項目ではなくなったため調査結果なし。

II 対応の方向性

(地域の元気づくり)

- 1 地域資源のブラッシュアップを図るとともに、地域資源を連携させることにより「点」から「線」、さらには「面」として地域の魅力を創出する。
- 2 地域防災力の向上と住民が安全安心を実感できる施策を展開する。

(人口対策)

- 1 安心して結婚・出産・子育てができるよう、ライフステージの様々な段階に対応した施策を展開する。
- 2 地域資源を活用し、小学生からの「ふるさと意識」の醸成や若年層の雇用の場の確保、近郊農業の地の利を活かした農産物生産、新規就農による雇用創出などの施策により、東播磨地域への定着・移住を進める。

Ⅲ 具体的な取組

(地域の元気づくり)

1 人・もの・情報が交流する魅力と賑わいの拠点づくり

(1) 魅力と賑わいの拠点づくりの推進

観光ポータルサイトを活用した名物・名所グランプリやフォトラリーを開催して東播磨地域の魅力をPRする。

【主な事業】

- ① 東播磨ツーリズムファンづくり事業《2,980千円》
 - ・ 観光ポータルサイトにおいて東播磨地域の『食』、『自然』、『歴史・伝統』各分野で「食べてみたい」「行ってみたい」と思うものを投票してもらう「東播磨地域名物・名所グランプリ 2024」を実施し、地域の観光資源を広くPRし、同サイトへのアクセスを促進し、地域への誘客を促進
 - ・ 県民目線での東播磨の新たな魅力を掘り起こすため Instagram を用いたフォトラリーの実施

(2) 交流を促す基盤・拠点の整備と多彩なネットワークの構築

東播磨道や国道2号の4車線拡幅などの道路網の整備及び駅周辺の拠点整備や国道2号土山交差点改良事業や、県道曾根停車場線の歩道整備事業等により、よりよいまちづくりと多彩なネットワークを構築する。

【主な事業】

- ① 多彩なネットワークの構築《ー》
 - ・ 東播磨道、国道2号(加古川市内4車線拡幅)、天満大池バイパス、国道2号(和坂拡幅)等の整備
 - ・ 播磨臨海地域道路の都市計画・環境影響評価手続き
- ② 駅周辺の拠点整備・活用《ー》
 - ・ JR東加古川駅付近、山電高砂駅から荒井駅付近の連続立体交差事業
 - ・ 都市計画道路朝霧二見線等の街路整備事業(山陽電鉄江井ヶ島駅周辺)

(3) 水辺との心豊かな暮らしが思い出に残るふるさと意識の醸成

“ため池群と水路網”及びそれらに関わる歴史的・文化的資源を守り・活かし・次世代へ継承する、SDGs の理念とも合致する取組を推進するとともに、持続可能な地域づくりの展開を図る。

【主な事業】

- ① 水辺の地域づくり(いなみ野ため池ミュージアム推進事業)《15,430 千円》
 - ・ 地域課題を、実践活動者、グループ・団体等の交流活動を通じて解決し、次世代に継承するため持続可能な地域づくり活動を展開
 - ・ 若者・Z世代参画のため池ゴミ拾い甲子園の開催
 - ・ ため池巡りロゲイニングの開催
- ② 東播磨フィールドステーション事業《7,398 千円》
 - ・ 公・民・学の5者協定の取組拠点である、「東播磨フィールドステーション」の管理運営
 - ・ 学生参画により管理体制や組織をアップデート、学生ならではの発想で地域の新たな仕組みづくりの検討

2 いきいきと暮らせる安全安心なまちづくり

(1) 地域防災力の向上

阪神・淡路大震災や東日本大震災の経験と教訓を踏まえ、南海トラフ地震や風水害等の大規模災害に備えるため、防災・減災対策等を推進し、災害に強い地域づくりを進める。

【主な事業】

東はりまため池保全管理省力化事業《2,800 千円》

- ・ ため池の防災・減災対策の基本となる「管理者による適正な保全管理」の促進に向けて、大きな負担となっている法面の草刈り作業を省力化するため、グラウンドカバープランツによる被覆工法の導入実証

(2) 安全な自転車利用環境の構築

自転車レーン等の整備、サイクリングマップの配布など、誰もが安心して自転車を利用し、活用出来る環境を構築する。

【主な事業】

- ① 自転車レーン等の整備《一》
 - ・ (都) 尾上小野線 (加古川市) : 自転車道の設置
 - ・ (一) 明石高砂線 (高砂市) : 自転車レーンの整備 他
- ② サイクリングライフを楽しむまちづくり《3,000 千円》
 - ・ SNS の活用や、「東はりま・北はりまサイクリングマップ」の配布等の情報発信により自転車の利活用を推進

(人口対策)

1 安心して結婚・出産・子育てできるまちづくり

(1) 様々なライフステージに対応した子育て施策の推進

子育て世代の転入や、若者の定着促進に向け、安心して出産・子育てができるよう、雇用・就業支援、仕事と家庭の両立のために地域や企業と一緒にした子育て支援などの充実を図る。

【主な事業】

① 子育て応援ネットの推進《ー》

- ・ 子育て家庭応援推進員を対象にした専門研修を開催

2 東播磨の特性をいかした産業の活性化と働く場づくり

(1) 東播磨ものづくり企業の魅力発信

未来を担う子どもたちが地元企業に愛着を持てるよう、ものづくり企業などの体験ツアーの実施や、地域内外の大学生等に地元企業の魅力をPRする機会を作り、若者の就業に結びつく支援を実施する。また、管内のものづくり企業の販路拡大にも取り組む。

【主な事業】

① 東はりまの魅力KIDs体験ツアー《1,253千円》

- ・ 小学生を対象にした工場見学やものづくり体験を行う体験型バスツアーの実施

② 東播磨ものづくり企業の魅力発信事業《3,969千円》

- ・ 管内中小企業に対し、国際フロンティア産業メッセへ参加する際の支援や、スタートアップ企業に対し、販路拡大するための支援
- ・ 管内の中小企業の採用活動を支援するため、東播磨出身者等を含む近隣の学生の地元就職を促進するための企業説明会を実施

③ 東播磨産麦類の生産拡大支援事業《1,000千円》

- ・ 西日本有数の生産規模を誇る東播磨特産の大麦(シュンライ)について、生産者への意識醸成や情報共有、技術指導等を補助
- ・ 麦茶だけでなく多様な仕向けによる販路の多角化や、県立農業高等学校と共同で、新商品開発や魅力発信を行い、さらなる生産拡大を推進

④ 東播磨「農」のブランド化推進事業《6,075千円》

- ・ 東播磨産農畜水産物の県内外へのブランド力強化と需要拡大等の推進
- ・ 地域農畜水産物を活用した新商品の開発及び普及啓発資材等によるPRの促進
- ・ 加古川和牛の試食イベント等によるPR
- ・ 東播磨地域の新たな特産品「バーボン」づくりの取組推進
- ・ ヘアリーベッチを活用した農産物等の認知度向上